

まえがき

本書は終盤の速度計算の基本をまとめた一冊である。終盤を綺麗に勝ちきれない、逆転負けに悩んでいるという方は多いだろう。終盤の逆転負けの最大の要因は攻めと受けのタイミングを間違えてしまうことである。受けなくてもいいところで受けてしまったり、ノーガードで攻め合って気がついたら負けていたり、攻めと受けの選択は常に難しい。

本書で正確な速度計算を身に着け、しっかりと読みに基づいて攻めか受けかを選択できるようになっていただきたい。

第1章～第4章を通してステップアップしながら最終的に敵玉、自玉双方の攻めと受けを考慮して速度計算する力が身につく構成になっており、さらに5章では例外的な特殊形も扱っている。

問題集形式のため繰り返し解いていただきたい。なお、問題によっては複数解がある。その場合はもっとも分かりやすい実戦的な手順を正解としている。少々難しい問題もあるが、繰り返し解くことで終盤力は確実に上がるはず。

終盤の速度計算の技術は将棋で最も重要なテーマの1つであり、本書が皆さんの悩みの解決に役立てていただけると幸いである。

石川泰

## 第9問

解答

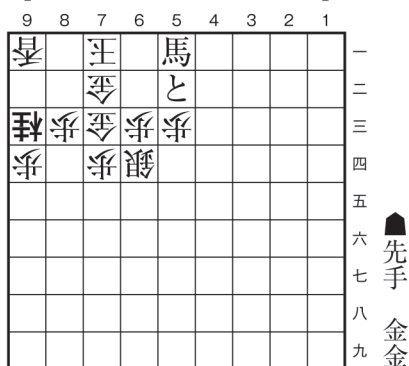
② 9二金 △同 香 9一銀 (正解図)

9二金と香車の頭に捨てて、9一銀で囲いに入城させないのが急所。△8二玉を許すと上部に逃げられてしまうため捕まえるのが難しくなる。

【正解図は 9一銀まで】



【失敗図は △9三同桂まで】

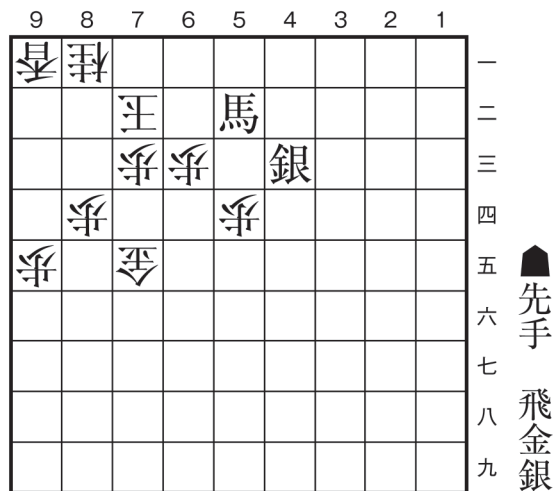


正解図からは次の 6一金を受けるには △9三桂しかないが、6一と △8一玉 7一金 △9一玉 (△同金は △同と △同玉 8二金で詰み) 7三馬 △同銀 8一金打で詰み。

① 9三銀は △同香には 9二金があるが、△同桂 (失敗図) で寄らない。

③ 6一銀は詰めろになっていない。

# 第 14 問



追い回すのではなく一氣に決めてください。

候補手

- ① ▲ 6 一馬    ② ▲ 5 四銀成    ③ ▲ 6 二飛

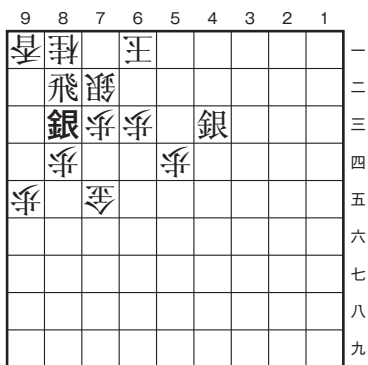
第14問

解答

① 黒6一馬 白同玉 黒8二飛 白7二銀  
 黒8三銀 (正解図)

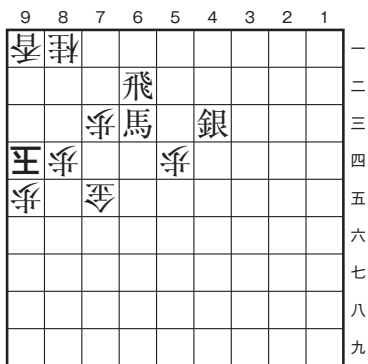
黒6一馬で玉を下段に落として、黒8二飛と挟撃形を築くのが好手順。最後の黒8三銀も大事な一手で、正解図からは白7一銀は黒5二金までの詰め、白6二金と受けても黒7二銀成白

【正解図は黒8三銀まで】



黒 先手 金

【失敗図は白9四玉まで】



黒 先手 金銀歩

同金黒8一飛成からの詰めがある。  
 ② 黒5四銀成は白8三玉で上部に押さえの駒がないため寄せにくい。  
 ③ 黒6二飛は白8三玉 黒6三馬 白9四玉 (失敗図) とされて端玉の形で粘られると白7四歩 白8五玉という脱出ルートがあり、意外と寄せにくい。